



活動の記録

グラウンドゴルフ

平成30年11月23日にアフタケアグラウンドにおいて、グラウンドゴルフ大会が開催されました。

多数の参加者があり、大いに盛り上がった大会になりました。

団体戦は、優勝が下宇美A、準優勝が上河原、3位に炭焼2Aという結果になりました。



カラオケ

1月には、友好カラオケ発表会が開催され、様々な演目が披露されました。

芸達者な出場者ばかりで、歓声と笑い声の絶えない、非常に楽しいひと時となりました。

主催
宇美小学校区コミュニティ運営協議会

第4回 友好カラオケ発表会



トピックス ～地元の話題～

地域貢献活動

宇美中学校では、宇美八幡宮などの清掃活動を通して、郷土を大切に作る心や態度を育みました。



自分たちの住んでいる地域なので、自分たちできれいに保っていききたい。この時間できれいにできて嬉しかったです。

宇美八幡宮の方や地域の方々の支えで、きれいな環境が保たれているんだなと感じました。私も少しでも貢献できればと思います。

これからも地域の活動にできる限り参加して、地域の人との関りを深めていきたいと思いました。



敬老交流

多くの自治会で敬老者と子供たちとの交流が行われました。上宇美二区では、子供たちが作成した「うちわ」を敬老者にプレゼントして、大変喜んでもらえたようです。

子供たちは、来年もプレゼントを考えているとのこと。





ご挨拶

宇美小学校区コミュニティ運営協議会の皆様には、日頃から校区コミュニティの形成に多大なるご尽力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、町内5つの小学校区で全区的にスタートしたコミュニティ推進事業も、この4月で3年目を迎えます。この間、各校区で地域の特性を踏まえ様々な活動を展開いただき、大変心強く思っています。中でも、宇美小学校区コミュニティは、自治会の数が多く校区も広いので、いろいろなご苦労もある中、会長さんを中心に、役員さん、会員の皆さんが一体となって取組の企画や実践が進められており、各自治会なども積極的に協力され、地域コミュニティの醸成に向けた力強い歩みを感じています。

今後とも、校区コミュニティ、そして自治会等地域の皆さんと行政とがしっかりと連携し、住民の皆さん安心して、生きがい溢れる生活を送ることができる地域づくり、まちづくりに取り組んでいきたいと考えていますので、ご理解とご協力をよろしく願いいたします。

宇美町長 木原 忠

立春とはいえ、まだまだ寒さ厳しい季節から、校区民の皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。昨年は各地で大変な災害が発生した、近年に例をみない年だったように思います。幸いにして宇美町には、大きな被害もなかったようであり、本年も何事なく良い年であるようお願いいたします。

さて、宇美小学校区コミュニティ運営協議会は発足から4年が過ぎました。これも、役員の方々の努力と、校区民の皆様方のご支援とご協力があったことであり、厚く御礼申し上げます。

本年から、新たに、環境部会、地域ふれあい部会、防災部会、青少年育成部会などを立ち上げ、一つ一つ着実に進めていきたいと思っております。特に地域ふれあい部会では、全校区民の皆さんと一緒に楽しめる夏祭りなどの恒久的なイベントを実施したいと考えています。子供たちが将来成長し、故郷宇美町をいつまでも愛することのできる思い出をになればとの思いからです。

そのためにも、宇美小学校区コミュニティを益々発展させ、恒久的なものにして、誰もが住んで良かったと思える地域にしていきたいでしょう。それには、校区民皆様のご支援が必要となります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

宇美小学校区コミュニティ運営協議会長 岩松 紀信

去る、平成30年10月1日付けで、宇美町教育委員会教育長に就任し、徐々に教育行政に係る仕事をさせていただいております。平成28年4月から同30年9月までの2年6月の間、地域づくりコーディネーターとして、宇美町地域コミュニティ推進事業に取り組んでまいりました。この間、宇美小学校区コミュニティ運営協議会の皆さん方には、大変お世話になりました。

これまで、宇美小学校の校長として教育活動に携わり、退職と同時に「地域づくり」という新たな領域に戸惑いもありましたが、温かい地域の皆さんの励ましで、充実して仕事をすることができましたし、学ぶこともたくさんありました。そこで、学んだことを2つ紹介します。

1つは、運営協議会では、様々な視点から熟議がなされ、なかなかまとまらないこともありましたが、実際に活動に入ると、みんなの気持ちが1つになっていったということです。地域の皆さんの情熱や推進力を感じることができ、これらは、地域コミュニティを活性化するためには大切な要素になってくるものと思っております。

2つは、地域コミュニティの活動を支援していく場合には、「地域住民主体」という価値や理念を前面に出して、住民の思いや願いにかかわっていくことが大切であることを学びました。仕事を進めるなかで、地域住民や関係する様々な人が参加し、地域のニーズについて情報交換したり、地域と行政の意見交換や事例検討をサポートしていくことが、私たち地域づくりコーディネーターに求められている重要な仕事であると思えました。

このように、私は、地域の人や様々な行事を通して成長することができました。今後は、教育者として宇美町にある地域力、教育力を通じて、宇美町ならではの教育というものを確立して、成果を明らかにしていきたいと思っております。そして、「教育でまちづくり」の信念を持って、地域の皆さんと共働して取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

宇美町教育委員会教育長 佐々木 壮一朗